

2023連合ジェンダー平等推進中央集会に参加！

男女が共になってあらゆる分野に女性の積極的な参画をすすめよう！



10月27日に、「2023連合ジェンダー平等推進中央集会」が開催されました。対面とオンライン併用で開催され、生保労連からも各組合の女性登録者の方をはじめとする20名が参加し、全体では1,200名以上が対面とオンラインで参加しました。

～すべてにジェンダー平等の視点を持つことは、人権を守ることに繋がる～

芳野友子連合会長は冒頭の挨拶で、「すべてにジェンダー平等の視点を持つことは、人権を守ることに繋がっている。職場のあらゆるハラスメント禁止を求め、弱い立場にいる人々を守ることが私たち労働組合の使命であることを忘れてはいけない」と決意を述べました。



▲力強く決意を述べる芳野連合会長

続いて、小原成朗総合政策推進局長より、「ジェンダー主流化を推進しよう！『ジェンダー平等推進計画』次のステップに！」と題した基調提起がなされました。

ジェンダー主流化とは…
あらゆる分野での意志決定過程への女性の参画を促進し、その影響評価を行いながら政策などに反映していくこと

～クミジョが活躍するための突破口はどこにあるのか～

次に、武庫川女子大学本田一成教授より、講演とパネルセッションを通じて、「クミジョが活躍するための突破口はどこにあるのか？」について、ディスカッションが行われました。



▲パネルセッションの様子

クミジョとは…

女性役員だけではなく、労働組合の職員や関係団体、組織内議員などを含めて広く労働界で頑張る女性のこと

～ジェンダー平等は女性だけではなく、男性と共に行うものである～

最後に、集会アピールを採択し、「今回の集会のスローガンには『男女が共になって』との言葉が入った。これまで開催してきた『中央女性集会』は今回『ジェンダー平等推進中央集会』になった。ジェンダー平等は女性だけではなく、男性と共に行うものであることを誓い、取り組んでいきたい」との決意表明を共有して閉会しました。